

平成27年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名		水道水質管理ベンチマーキング推進事業費			担当部局庁		健康局		作成責任者		
事業開始年度		平成26年度	事業終了 (予定)年度	平成28年度	担当課室		水道課		水道課長 宮崎 正信		
会計区分		一般会計			政策・施策名		Ⅱ－2－1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		水道法第4条、第20条、第34条の2			関係する計画、 通知等		「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について」				
主要政策・施策					主要経費		その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		本事業は、ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法を策定し、事業者自らの自主的な対策の促進及び行政機関の指導強化による水質管理水準の向上を実現し、もって水道水の安全を確保する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		簡易専用水道の管理状況を捉え、ヒアリング及び有識者委員会等を通じて実態を把握するとともにベストプラクティスを探索し、ベンチマーキングによる簡易専用水道の水質管理改善方法を検討する。									
実施方法		委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	-	-	5	4	4			
			補正予算	-	-	-	-				
			前年度から繰越し	-	-	-	-				
			翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
			予備費等	-	-	-	-				
				計	0	0	5	4	4		
				執行額	-	-	5				
				執行率 (%)	-	-	100%				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度
		ベンチマークの推進により簡易専用水道検査率100%を目指し、水道水質管理水準の向上を図る。		簡易専用水道検査率		成果実績	%	-	76.5	集計中	
						目標値	%	-	-	100	100
						達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
		簡易専用水道の管理状況調査件数			活動実績	件数	-	-	216,324		
					当初見込み	件数	-	-	213,558	216,324	
単位当たり コスト		算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
		単位当たりコスト = X / Y X:「水道水質管理ベンチマーキング推進事業費」 Y:「簡易専用水道の管理状況調査件数」			単位当たり コスト	円/件数	-	-	20.7	20.5	
					計算式	X / Y	-	-	4,482,000/216,324	4,432,000/216,324	
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	食品等試験検査費		4	4							
	計		4	4							

事業所管部局による点検・改善						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	水道水質管理水準の向上は広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	水道水質管理水準の向上は、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	安全で質の高い水道を確保するため、水道水質管理水準の向上は優先度が高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	成果実績は、翌年度にデータ集計が完了するため、成果目標との比較は現時点では困難である。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みを上回っており、見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	次年度以降の検討業務において、十分に活用できる成果物となっている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	本事業は、ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法を検討し、簡易専用水道設置者自ら、及び行政機関の指導強化による、水質管理水準の向上を実現し、もって水道水の安全を確保するために実施しているものである。平成26年度事業においては、簡易専用水道管理の実状把握及びその管理水準向上のための方策について検討を行い、活動方針までをとりまとめた。今後は、より具体的な取り組みについて検討し、水道水質管理水準の向上に努める。				
	改善の方向性	平成26年度事業で取りまとめた方針に基づき、より具体的な取り組みについて検討し、簡易専用水道設置者及び水道行政部局へ示すことで、水道水質管理水準の向上に努める。				
外部有識者の所見						
期限を設定して事業が実施されており、執行率、活動実績も問題ない。本事業の成果が達成できるよう、引き続き適正な執行に努めて頂きたい。(栗原)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	点検結果も妥当であり、安全で質の高い水道を確保するために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法を検討し、簡易専用水道設置者自ら、及び行政機関の指導強化による、水質管理水準の向上を実現のための方策を検討するための費用について積算した結果、適正な予算となっている。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新26-029			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 4.9百万円

ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法策定に係る業務の企画・立案

【一般競争入札】

A. (株)三菱化学テクノリサーチ 4.5百万円

ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法策定

対象外(事務費) 0.4百万円

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.(株)三菱化学テクノロジー			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費等	直接人件費、諸経費、技術経費等	4.5			
計		4.5	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三菱化学テクノロジー サーチ	水道水質管理におけるベンチマーキングの導入等に関する調査業務	4.5	1	91%